

自然感

# くすのき

yumi



※熊洞居人(くま)のつぶやき、今号は都合で休載させていただきます。

早春の雰囲気を能古島(1/27)からお届けします。寒い時期ですが、目で暖かさを受け取りくださいな。フキノトウ・オドリコソウ・タチツボスミレ・そして、ハマダイコンの花です。



## 季節感

一月末からの暖かさに、気がつけば団地中庭の小さな梅の古木は満開になっていて近づくとも良い香りが漂っている…

『ウメの花』

平成26年2月3日  
福岡市早良区室見団地  
大塚 俊樹



## ★都市公園で自然観察会33★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

☆日時 2月16日(日)

集合14時～解散16時

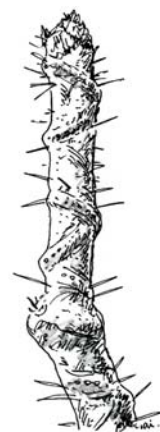
☆場所 春日公園・自然かんさつ館  
〔旧公園管理センター〕

※今年度の定例総会で、観察会を有料にし、参加費を集めることに決まりました。活動経費の補助などに充てます。

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765〔FAX兼用〕



アサギ冬芽

ai

### 日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

2/16 (日) 3/16 (日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）

2/22 (土) 3/22 (土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：9:00～12:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3/2 (日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：8:00～11:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

3/8 (土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

3/9 (日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3/4 (火)  
県営春日公園（春日市）  
時間：10:00～12:00  
集合：旧公園管理センター前  
問合せ：092-592-3423（小野仁）

### 日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

2/23 (日)  
延命公園（大牟田市）  
時間：9:00～  
集合：公園内体育館西側広場  
問合せ：080-2793-0553（永江）



ai

### 福岡植物友の会 主催

2月以降の例会は  
お問合せください。  
問合せ：090-7292-4226（北野星二）

### 三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3/1 (第1土曜日)  
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）  
集合：九州歴史資料館駐車場  
時間：9:30～12:30  
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ200円（保険料込）  
ブログは 三国丘陵 [検索](#) で  
すぐにヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察会の様子

### 久留米の自然を守る会 主催

2/22 (土) 3/15 (土)  
「身近な植物ボランティア養成講座」  
  
河川敷の植物から科ごとの学習、  
標本作成講習  
  
集合：筑後川防災施設  
くるめウス前  
時間：10:00～12:30  
参加費：無料  
詳細はお問合せください。  
問合せ：TEL&FAX 0942-44-2986  
090-9605-8944（橋田）



霧（2014年1月23日 午前8時35分）三国・松永

### 和白干潟を守る会 主催

2/22 (土)  
守る会定例会議  
時間：10:30～13:00  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2/22 (土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



タマバチの虫こぶ（コナラ）三国・松永

# ◇投稿1◇ 青葉パークネイチャークラブ出水ツル観察会



出水ツル観察会を1月19日に行いました。

参加者13名でツルの飛来地で有名な鹿児島県出水市にツルの観察会に行きました。世界の8割近くのナベヅルが飛来する当地では、他にマナヅル・クロヅル・カナダヅル・ナベクロヅルなど飛来し、当日もナベクロヅルをのぞく4種類のツルが観察することができました。12月のツル羽数調査では、12,557羽のつるが確認されていました。

ツル観察センターの案内人の方の説明聴取や現地野鳥観察終了後、クレインパークいづみ（つる博物館）に移動し、ツルに関する資料や展示物と出水市の自然に関する資料等を学習しました。

## 【出水市ツル観察センターでの野鳥観察】

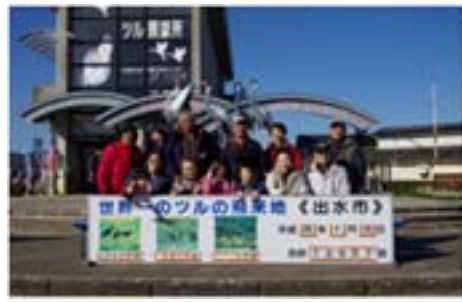
### ツルの飛来状況



参加者吉田征男様撮影

野鳥観察状況

観察センターの前で記念撮影



### クレインパークいづみ（ツル博物館）での学習状況



・～・春日公園自然観察日記／第32回 2014年1月19（日）・～・

春日公園観察会2014年1月19日（日）の報告

参加者、会員8名で、神沼俊夫・神沼信子・三好修・小野仁・徳永紀男・永松愛子・安部泰男・田村耕作です。

調整池でカワセミをじっくりと観察した。参加者の背中から陽が射し、その鮮やかさがひとときわ際立った。参加者から羽の色合い、♂♀の区別、「宝石と喩えられる」意味が分かった、などの感想が寄せられた。また、そばではアオサギの探餌も観察できた。探餌しているモズに出会い、目線の高さで観察することができた。

図鑑ではわからない動作や羽の動きなど、改めて本物の良さを実感できた。

池の中にある木の横枝に止まっていた



浅瀬で探餌中のアオサギ



木陰にて餌探しするモズ



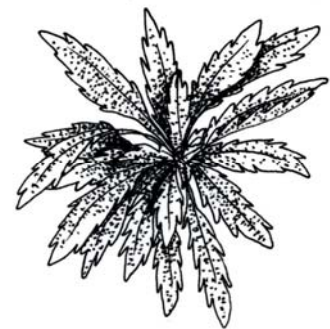
冬芽もじっくり。もうすぐ開花するウメの花芽。サンシュユの冬芽。先月までは鮮やかな赤い実が付いていた。赤い実をまだたくさん付けていたのが、マンリョウでした。



楽しく観察する参加者たち。



報告：田字草



オオアレチノギフ  
ロゼット

## ◇投稿2◇ ウミガラスとエトピリカの冬羽

年始に主人の実家に帰省した際に、東京都江戸川区にある葛西臨海水族園に行ってきました。油山の自然観察センターのレンジャーをされていた掛下さんもお一緒でした。掛下さんは相変わらずで、お元気でしたよ。

葛西臨海水族園では様々な生物が飼育されていますが、みどころは2,200トンのドーナツ型の大水槽で群泳するクロマグロや、国内最大級のペンギン展示場で泳ぎ回るペンギンの姿などだそうです。

大きなマグロの群れが泳ぎ回る姿も見応えがありましたが、私が一番魅かれたのは、海鳥のプールでした。海鳥のプールにはウミガラスとエトピリカが飼育されていましたが、その中の海鳥を見た時、私にはすぐにウミガラスとエトピリカだとはわかりませんでした。それは、私のイメージと瞬間的に一致しなかったからです。私の持っていたイメージは夏羽で、プールの中のウミガラスとエトピリカは冬羽でした。特に、エトピリカは知らなかったら同じ種だとは思わなかったかも知れない程の変化です。夏羽では、くちばしが朱色で目立ち顔の上半分が白く後頭部には冠羽もあります。ですが冬羽では、くちばしは黄色に変化し顔はほぼ黒くなり冠羽も抜け落ちてしまいます。ウミガラスの夏羽は、首から上が全部黒いのに対し、冬羽では頬から下が白くなる程度の変化なので、それ程驚くことはありませんでした。

野外で自然の姿を確認できた際の感動とは別ですが、間近で見ることが難しい海鳥をじっくり観察できるのは楽しかったです。「これがウミガラスとエトピリカの冬羽か」としばらく見入ってしまいました。さらに、嬉しい偶然で、餌を与えてその食べ方を観察できるスポットガイドの時間と重なり、水の中で餌を追って飛ぶように泳ぎ回る姿も堪能できました。

春日市在住 ねこ



右上2羽 エトピリカ冬羽

左上1羽と右下2羽 ウミガラス冬羽



エトピリカ夏羽

※葛西臨海水族園ホームページから抜粋



